

スペシャリスト・
エキスパートナース
の活躍



成人看護(慢性)専門看護師

片岡 優実

当院では専門看護師、認定看護師の育成・活用を看護部が積極的にサポートしてくれています。それぞれの専門・認定看護師がお互いの役割を理解しあい、力を発揮できるよう協働し、よりよい看護をしていこうとがんばっています。慢性疾患患者さんへの看護では、患者指導・教育が重要になります。私は成人看護(慢性)専門看護師として、自分の専門性を活かして外来での指導・相談を行うとともに、入院中の患者さんの退院に向けて病棟スタッフ・師長と協働して、各々の患者さんに合った指導・在宅ケアの調整を行っています。



クリティカルケア専門看護師

宇都宮 明美

ICUなどの集中治療の現場で働いてきて、身体的にも心理的にも危機的状況の患者さんをケアする機会が数多くありました。緊迫した状況の中でも、患者さんの身体や心の変化を見逃さず、エビデンスに基づいたケアができるようになりたい、そう思うスタッフを支援したいと思い専門看護師になりました。クリティカル領域では、患者さんをケアする期間は短いですが、この時期のケアの質が患者さんのQOLに大きく影響を及ぼします。それだけに看護師の役割は重要であること、やりがいも大きいことを伝えていきたいです。



感染管理認定看護師

一木 薫

感染制御部に所属し、専任の感染管理担当看護師長として、施設における効果的な感染対策を推進していく役割を担っています。医療チームの中で、他の職種と連携しながら、病院内の各部門を横断して、感染管理活動を展開しています。日々病院を駆け回り、各部署の感染対策に関する問題に対応しています。また、サーベイランス活動の継続により、感染率を低減させて質の向上につなげるよう努力しています。これらの活動により、“兵庫医科大学病院にかかわるすべての人々を感染から守り、安全な療養環境および職場環境を提供できる”ことを目指しています。



WOC看護認定看護師

岡山 カナ子

Wound (創傷)、Ostomy (オストミー)、Cotininee (失禁) ケアを専門領域として、知識と熟練した技術の提供を行っています。ストーマ外来や褥瘡対策チームでは中心となり、患者さんの状況に応じた適切なケアの提供や相談を受けています。また、WOC領域の看護の質の向上がはかれるように、ラダー別研修会、勉強会、病棟ラウンドなどをおこなって、できるだけ多くのスタッフと関わるように努めています。



救急看護認定看護師

清水 真幸

私は、救急看護認定看護師として、救命救急センターに在籍しています。センターには毎日、重症患者様や危機的状況にある患者様が搬入されますが、患者様やご家族に質の高い看護を提供できるようにスタッフへの教育指導を行っています。また災害拠点病院のセンターとしての役割が果たせるように、プレホスピタルケア・災害看護の確立に力を注いでいます。



不妊看護認定看護師

松本 豊美

不妊認定看護師として、不妊に悩む患者さんへ自己決定に必要な情報提供と心理的カウンセリングを行い、納得して治療を受けることができるように支援します。高度生殖医療の進歩の中で、着床前診断・卵子精子凍結・代理懐胎などの需要が高まり新たな問題も生じてきています。患者・家族・医療チーム協働で倫理的問題に対して話し合いを持ち、助言を行うことで患者さんと共にこれからの人生を考えて行けることを目指しています。



◆認定看護師課程進学システム (2001年度～)

認定看護師養成課程進学にあたって、「国内長期出張取扱内規」に基づき補償がされます。受講後も臨床に戻り、GENとして活躍しています。

◆大学院進学・助産師学校進学システム (2007年～)

本学の看護職員がより専門性の高い資格取得を目指す看護大学院・看護大学・助産師学校等への進学希望などに対応するため、在籍(休職)したまま進学できる制度です。